

年	組	名前
---	---	----

大分県が公表した2011年度の市町村民経済計算の推計結果によると、市町村民所得は県内18市町村のうち10市町村が前年度を下回りました。

10市町村で減少

11年度の住民所得

2011年度 市町村民経済計算の推計結果	市町村民所得			市町村内総生産(億円)
	総額(億円)	増加率(%)	1人当たり(万円)	
大分市	13,695	▲2.4	288	20,634
中津市	2,619	2.5	210	3,391
津久井市	1,910	▲9.3	226	2,779
津和野市	1,530	▲0.5	218	2,266
佐伯市	1,753	6.3	230	2,323
臼杵市	964	6.7	235	1,191
豊後市	577	12.4	295	805
高田市	513	▲1.8	214	749
佐野市	503	▲4.1	212	702
大野市	732	1.6	233	969
豊後大野市	1,421	1.5	242	1,990
佐布市	825	▲0.9	212	1,098
東郷町	838	3.2	243	1,109
島田町	344	▲24.7	110	732
重珠町	36	▲6.4	167	46
九重町	754	8.0	267	908
玖波町	248	▲5.0	243	356
玖波町	380	▲3.8	226	507
全県	29,641	▲1.0	249	42,555

大震災や円高が響く

県が公表した2011年度の市町村民経済計算の推計結果によると、市町村民所得は県内18市町村のうち10市町村が前年度を下回った。11年3月に発生した東日本大震災や円高などにより、輸出産業を中心に企業所得が減少したことが影響した。県全体の総額は2兆9641億円となり、前年度比1.0%減と2年ぶりのマイナスとなった。

最も減少したのは国東市で、前年度に伸びた反動もあり24.7%減と大きく落ち込んだ。円高に加えてギリシャの財政不安に端を発した欧州債務危機も影響し、外需の低迷でデジタルカメラなどの輸出が不振だった。次いで中津市が9.3%減。震災でサブプライムローン(部品の供給網)が打撃を受けたことや原油生産は全国31位。

油、鉄鋼など原材料の高騰で、自動車産業の製造コストが上がったことが響いた。前年度比プラスになったのは津久見市や日出町、臼杵市など8市町。セメントや食品産業、半導体など地域の主力産業の業績改善が所得を押し上げた。市町村民所得は雇用者報酬、財産所得、企業所得の三つを合わせて算出。特に企業所得の増減が全体の變動に大きく関わる。総人口で割った1人当たりの市町村民所得で見ると、日田、竹田、豊後大野3市を加えた11市町がプラスだった。県全体では1人当たり249万円となり、前年度比0.6%減。市町村内総生産は津久見市の14.1%増をはじめ佐伯、日出、臼杵、由布、別府、宇佐、杵築、日田の計9市町で前年度比プラス。18市町村を合わせた県内総生産は4兆2555億円増で、前年度比0.2%増だった。

(2014年9月2日朝刊5面)

① 1人当たりの所得の多い市町村のトップ1～3はどこでしょう。

.....

.....

.....

.....

② 増加率のトップ1～3の市町村はどこでしょう。

.....

.....

.....

.....

③ 所得が増減した理由を、各市町村の産業と、社会の状況から予測してみよう。

.....

.....

.....

.....